

山梨が誇る素晴らしい資源

地下水が豊富な山梨。バナジウムが多い富士の水、癖のない白州の水など、その特徴を生かしてミネラルウォーターも数多く発売されている。山梨地下水調査連絡会代表で、山梨大国際流域環境研究センターの風間ふたば教授は「山梨には素晴らしい地下水があるが、あまりに身近なためかその良さに気付いていない人も多い。夏は水を多く消費する時期でもあるので、この機会に関心を持って」と呼び掛ける。

生活に恩恵見つめ直して

地下水



風間ふたば山梨大
国際流域環境研究
センター教授

く飲みやすいのが特徴だ。富士山の周辺にはバナジウムというミネラルの一種が多く含まれ、その量は他地域の約50〜100倍といわれている。

山梨の地下水はミネラルウォーターに多く使われ、そのシェアは全国の約4割。特に白州の地下水は、ミネラルのバランスがよく、硬度が低く軟らかい。豊かな地下水は盆地を囲む山々がはぐくんでいる。甲府

環境保全へ配慮を

盆地の降水量は全国平均に比べると少ないが、周囲の山々には多く降るため、地下水として豊富に蓄えることができる。全国平均よりも約50%多い。生活用水だけでなく、工業、農業にも使われ、その排水が地下水を汚染することも。

水道水源にも特徴がある。

甲府の水道水はダムからの取水が中心だが、ほかの地域は地下水がほとんど。地下水とダムや川などの地表水との割合は、全国は地下水が約3割、地表水が約7割に対し、山梨はその逆で地下水が7割を占める。一方、一日の水の使用量も、水環境にも影響を与えていることを知ってほしい」

家庭などでは夏休みを利用して、県内の水状況や環境への影響、水を中心にした暮らしの様子などを調べ学習することを勧める。「蛇口をひねればいつでも水が使えることは幸せなこと。私たちの暮らしが水に支えられている一方、水環境にも影響を与えていることを知ってほしい」